

The 2 Chome Times 平成26年10月号

NO1のプレミアムストリートをめざして



NO197.

2014・10・25.

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイム月10月号

編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明

<http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com

★安全で安心な街へ！

10月1日（水）午後2時よりサンセンタープラザにある HATENA 前にて平成26年地域安全運動セレモニーが華々しく行われました。この運動は、地域団体が行政、警察と一体となって、地域の安全・安心について考え、その機運を盛り上げていくために全国各地で執り行われているイベントです。



神戸では兵庫県警察音楽隊の軽快な音楽と可愛いかもめのキャラクターとまもりちゃんのマスコットキャラクターで楽しい雰囲気を出し、参加されていた

多くの一般の方々も和やかなムードの中、安全で安心な街について積極的に取り組んで行こうと思われたのに違いありません。

このコンセプトは私達の街2丁目を目指して行こうとしている街創りのコンセプトと全く同じです。積極的に取り組んで行かなければと一層思いました。



★SANNNOMIYA COLLECTION 2014 AUTUMN & WINTER

今年も恒例となりました SANNNOMIYA COLLECTION が 10月5日（日）にセンター街1丁目で行わ



れました。ステージは3部構成になっていて、1stショーと2ndショーではそれぞれプロモデルショーが行われ、ショー終了後にはモデルが着こなしている商品を提供して頂いた各施設でミニファッションショーも開催され、細かいディテールなどをチェックする事もできて皆さん熱心にご覧になっていました。その両ステージ



の合間にはスペシャルステージ、Wedding Stageがあり、ウェディングクイーンが登場し、その美しさに思わず見とれてしまいました。2丁目からはブティックセリザワの新ブランド「モンストーク」が出品（写真）され、華を添えました。その他イベントブースとしてワインの試飲やネイルアートの体験が出来たり、今人気の車、英国生まれのMINIが展示され、ショーをより魅力あるものにしていました。来年のショーも今年以上に素敵になるでしょうし、皆さんの目が三宮に集まればいいですね。

★こんな建物が岡本にあったの？

喜多郎のテーマ曲で見果てぬ西域のシルクロード遺跡に胸を躍らせた経験をお持ちだと思います。



そのシルクロードの大探検を20世紀の初頭に敢行し、貴重な文物を我国にもたらした大谷光瑞（西本願寺22世法主）。その彼が岡本の山麓に建てた本邦無二の珍建築と評された二楽荘。その活動と昭和7年の焼失が惜しまれるこの建物の全貌に光をあてる1999年の芦屋美術館で



開催された展覧会以降の新発見、深まる研究成果を示す展覧会です。

(特別展の御案内)

二楽荘と大谷探検隊展 龍谷ミュージアム 〒600-8399 京都市下京区堀川通正面下る(西本願寺前)
開催期間: 2014年 10/4(土)~11/30(日) 10:00~17:00 月曜休館 Tel 075-351-2500

★神戸ぐるっとまわってポン! ?のお知らせでKiss FM神戸に出演しました

今年で三回目を迎える神戸ぐるっとまわってポン! ? もうおなじみですね! そのイベントの告知で2丁目の毛利マークの藤井さんがKiss FMの朝の番組4SEASONSに出演させていただきました。DJの中野耕史さんが話を上手に引き出してくれて、楽しい放送でした。藤井さんも他の方も自身の声がオンエアされているという緊張感を微塵も感じさせない堂々たる内容でした。過去に参加された方々からのメッセージも頂き、自分達の思いが伝わっているのを実感して嬉しい限りでした。これからもさらに継続するイベントにしていきたいと思えます。もっと詳しくイベントの内容をお知りになりたい方やご興味のある方は下記のホームページにアクセスしてみてください。



神戸ぐるっとまわってポン公式ウェブサイト: <http://gurumawapon.kobe-sc.jp/>

★大嶺實清(おおみねじっせい)先生の「無垢の造形」展に行ってきました

大嶺先生は私達の街のアートストリートに収蔵されている「ブルーニライ」・「ホワイトカナイ」の作者ですが、お招きを受け先生の展覧会に行ってきました。那覇空港から車で約1時間、5年制で全学英語が共通語のOIST(沖縄科学技術大学院大学)の広大なキャンパスの中で、先生の展覧会が開かれていました。

日本人のスタッフ、学生を見つけるのに苦労するような環境の中で、地球の内臓とも言える掘り出した土をそのまま焼きしめ、土の持つそれぞれの表情を取り出した作品群の数々が、初めて出品された墨による額装されたデッサン、茶碗、風炉先屏風と共に圧倒的な存在感を示していました。



★編集後記

先日那覇市で行われた「沖縄政経懇話会21」に「KOBE三宮・ひと街創り協議会」会長の久利理事長が招かれ講演をされました。その時沖縄タイムス社の豊平社長と懇談中にふと目にした新聞記事に重い心臓病を患い米国で手術を望んでいる沖縄の中学生、松島良生(らい)君の事が掲載されていたそうです。同時期に神戸ではあの悲惨な長田の小学生の事件が発生し多くの人々が心を痛めました。なんとか一人でも大切な子供達の命を救いたいとの思いから、久利会長はその講演料30万円を全額松島君への寄付にと即決したそうです。神戸に帰ってその思いを三宮の街衆に伝えたところすぐさま募金活動が始まりました。またたくまに100万円ほどの寄付が集まり先日、来年の夢・未来号の沖縄での事前挨拶の時に渡すことができ、沖縄の方々からたくさんのお礼の言葉が神戸に届いているそうです。震災の時に多くの方々から助けて頂いた神戸の街衆はビジネスだけではなく、人と人の絆を大事にし、困った時には出来得る限り、共にその困難を乗り越えていく「熱い想い」を抱く街衆であると自負していますし、そうでなくてはならないと考えています。大阪など大資本が占める都市ではなく、一人一人の温かい気持ちが溢れる街にしていく事を目指しています。募金は11月末まで集められています。少しでも皆様のお気持ちが必要です。どうか御協力をお願いします。

お問い合わせ: らい君を救う会 Tel.098-989-7798 <http://rai-aid.com>

または2丁目の事務局までお問い合わせください。